

# 都道府県が設定している要防除水準(だいず)

(平成29年度調べ)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
だいず	カメムシ類	8月下旬(圃場侵入期)	見取り調査、圃場あたり100茎ずつ3ヶ所	0.3頭/100茎	即時		福井県
だいず	子実吸汁性カメムシ類	8月下旬(若莢期・カメムシ類の圃場侵入期)	見取り調査	100株あたり0.3頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
だいず	カメムシ類	9月中旬(発生最盛期)	見取り調査、圃場あたり100茎ずつ3ヶ所	4.0頭/100茎	即時		福井県
だいず	子実吸汁性カメムシ類	9月中旬(莢伸長後期・カメムシ類の最多発生期)	見取り調査	100株あたり4頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
だいず	フタスジヒメハムシ	8月下旬(成虫発生最盛期)	払い落とし調査、1.5m×2条の株を3ヶ所以上	約70頭/1.5m×2条株	即時		福井県
だいず	マメシクイガ	開花前以降(フェロモントラップ)、開花始め7日後以降(莢長)	フェロモントラップ・莢長調査	成虫の誘殺が開始している・およそ半数の株で莢長が2~3cmに達している	条件を満たしたことを確認後6日後以降、1回目散布:合成ピレスロイド剤、10日後の2回目散布:有機リン剤	防除開始期の目安	北海道
大豆	ウコンノメイガ	7月6半旬	見取り調査、1圃場あたり4ヶ所・連続5~10本について調査	葉巻数6個以上/本(一部開いた葉巻も1葉巻と数える)	即時~8月1半旬		富山県
大豆	ウコンノメイガ	7月第6半旬	葉面積指数の大きな地点を25茎調査	葉巻数3面以上/茎	8月第1半旬までに防除	平成24年度岩手県農業研究センター試験研究成果	岩手県
大豆	ウコンノメイガ	7月6半旬	ほ場全体で40~60茎の葉巻数を調査し、茎当たり葉巻数を算出	葉巻数1.3個/茎以上	7月6半旬~8月上旬	茎葉散布剤	秋田県
大豆	ウコンノメイガ	8月第1半旬	見取り調査	減収率5%を被害許容水準とした場合:葉巻率1.6%または1本当たり葉巻数1.3個	即時	他の減収率(10%, 15%, 20%)を被害許容水準として要防除水準を設定することもできる。	宮城県
だいず	食葉性害虫	開花始~	見取り調査	7月上旬:1頭・開花期:2頭・莢伸長最盛期以降:3~4頭	即時		北海道
だいず	ハスモンヨトウ	—	見取り調査	白変葉が5ヶ所/1a以上	即時		山口県
だいず	ハスモンヨトウ	8月上旬~中旬	圃場内の白変葉ヶ所を見取り調査	白変葉ヶ所数 5ヶ所/a	即時		鳥取県
だいず	べと病	開花始まで	見取り調査(上位葉)	病斑面積率2.5%(病斑数30個/株)以上	開花2~3週間前:即時及びその2~3週間後の2回・開花始:開花期の1回		北海道